

Windows 2000/XP付属 ping/traceroute

Windows 2000の操作方法も、以下で説明のWindows XPと同様です。

利用方法

STEP

1



[Windows XPの場合]

「スタート」メニューの「すべてのプログラム」を開き、「アクセサリ」から「コマンドプロンプト」を選択します。

[Windows 2000の場合]

「スタート」メニューの「プログラム」を開き、「アクセサリ」から「コマンドプロンプト」を選択します。

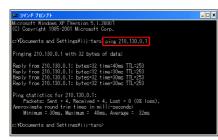
STEP



コマンドプロンプトが起動すると、左の画面が表示されます。

STEP

3



pingコマンドの利用方法を説明します。

▼入力内容

「ping 接続先のサーバ名」を入力 (例: ping 210.130.0.1)

「Enter」キーを押します。

コマンドの結果は接続先ホストまでのRTT (Round Trip Time: 送信パケットの往復時間)が1/1000秒単位で表示されます。

[Reply from XXX.XXX.XXX.XXXと表示]

接続先ホストまで到達性があり、正常に接続されていることが判ります。

「Request timed outと表示]

接続先ホストが正常に反応していない、またはインターネット接続自体が確立されていない可能性があります。

STEP

Δ



tracertコマンドの利用方法を説明します。

▼入力内容

「tracert 接続先のサーバ名」を入力 (例: tracert 210.130.0.1)

「Enter」キーを押します。

コマンドの結果は接続先ホストまでの間に経由したネッ トワークの経路と、ホスト毎に3回ずつ計測されたRTT (Round Trip Time: 送信パケットの往復時間) が 1/1000秒単位 (ms) で表示されます。

ネットワーク経路の途中でtimeout (*表示) や突発的に 高いRTT値が記録される場合、以下の理由が考えられま す。

[通信の優先順位]

経由する機器の利用状況によっては、tracerouteやping 等診断用の通信よりも他の通信を優先させることがあり

途中で「*」が表示されても、次のホスト以降の数値結果 が突発的に高いRTT値が記録されなければ、「*」が表示 されたホストでは遅延等は発生しておらず、正常に機能 しているものと考えられます。

[経由するホスト側または接続先ホスト側の制限]

セキュリティ等の理由により、tracerouteやping等診断 用の通信に対し制限をかけている場合があります。 経由するネットワーク組織または接続先ホストの管理者 にお問い合わせください。

[一時的な遅延等]

経由するホストのネットワークが一時的に混雑してる場 合があります。該当ホストあるいは次に経由するホスト のネットワーク組織管理者にお問い合わせください。

本書は著作権法上の保護を受けています。 本書の一部あるいは全部について、著作権者からの許諾を得ずに、いかなる 方法においても無断で複製、翻案、公衆送信等することは禁じられていま

IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの 商標または登録商標です

その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標また は登録商標です。

本文中では、™、®マークは表示しておりません。 ©2004-2006 Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更 することがあります。